

下野市図書館協議会 議事録

審議会等名 令和2年度 下野市第5回図書館協議会
日 時 令和3年3月12日(金) 9時30分から11時30分まで
会 場 下野市役所 3階 303会議室
出席者 青木委員長、鈴木副委員長、大垣委員、晴山委員、下山委員、松本委員、
宮川委員、高木委員、小林委員
【欠席委員】設楽委員
市側出席者 (事務局) 池澤教育長、清水教育次長、篠崎課長、伊澤館長補佐
(指定管理) 倉井石橋図書館総括管理運営責任者、和田石橋図書館管理運営
責任者、小畑国分寺図書館管理運営責任者、池田南河内図書
館管理運営責任者

公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)
傍聴者 1人
報道機関 0人
議事録(概要) 作成年月日 令和3年3月30日

議 題

- (1) 令和2年度実績報告について
- (2) 令和2年度図書館の外部評価について
- (3) 令和3年度事業計画について

【協議事項等】

1 開会 <篠崎課長>

2 あいさつ

<青木委員長> 本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。コロナ禍がなかなか治まらない中でも図書館では色々と苦勞して開館イベント等を行っていただきありがとうございます。今日は実績報告、外部評価等について進めていきたいと思うのでよろしくご協力いただきたい。

<池澤教育長> 私事になるが、ここでご挨拶するのもこれで最後になるかと思うのでよい機会に恵まれた。昨日市内4中学校の卒業式が挙行できた。入学式・卒業式は子どもたちにとって総まとめとスタートである。私たちは「できない」ではなく「どういうふうにするか」ということで、保護者・教職員・生徒が全員一致で取り組んだ。小学校の卒業式・入学式まで無事にできるよう、学校の体育館や校庭の開放については引き続きご理解いただきたい。コロナに対してはワクチン接種も始まるが、これは予防薬であって治療薬では無い。新しい生活様式をしっかりと実施していく中で、子どもたちの安全・安心をしっかりと守れるよう頑張っていきたい。

「子どもの読書活動推進計画」も皆さんのお力で出来上がってきて本当にありがたいと思っている。今日もよろしくお願いしたい。

3 議題

(1) 令和2年度実績報告について

【質疑等】

- 青木委員長 事務局と各館から説明をお願いします。
- 事務局 令和2年度事業実績報告により説明。
- 石橋図書館 令和2年度事業実績報告により説明。
- 国分寺図書館 令和2年度事業実績報告により説明。
- 南河内図書館 令和2年度事業実績報告により説明。
- 青木委員長 コロナ関係対策で色々工夫を凝らしながら事業をやっていたと思うが、この報告について何か質問がある方は挙手願う。
- 高木委員 施設見学で、1月の桑中学校の“書面での開催”とは具体的にどういうことなのか教えていただきたい。
- 国分寺図書館 図書館に来ていただく予定だったが直前に緊急事態宣言と重なったため、ファックスでいただいた質問に回答するという形で対応した。子どもたちから10以上の質問があった。
- 高木委員 了解した。
- 松本委員 質問が3点ある。①3館合同事業の中の基幹とは石橋図書館のことなのか。②南河内図書館の貸出で薬師寺小学校が「0」というのは何か特別な意味があるのか。③石橋図書館の「レプリカ展示」について、私は行っていなくてイメージが湧かないのでどんなものなのか教えていただきたい。
- 青木委員長 説明をお願いします。
- 事務局 ①基幹となっているものは市主催で実施している事業のことである。指定管理主催のものと区別するために基幹と表示している。
- 松本委員 幹事館というのはどういう意味か。
- 事務局 3館合同事業でも、いずれかの館がとりまとめ、その館を会場として実施するものについては「幹事館」、それぞれの館で行うものについては「各館対応」と区別している。
- 松本委員 言葉の意味は分かったが、見て分かるようにした方がよい気がする。
- 事務局 次からは「市」などの違う書き方に変更する。
- 青木委員長 よろしくお願いします。②薬師寺小について説明をお願いしたい。
- 南河内図書館 学校から今年度の団体貸出は無し、と連絡があったため0になった。
- 松本委員 薬師寺小は学校図書館が充実しているということなのか。
- 南河内図書館 コロナの影響である。
- 松本委員 了解した。③についてお願いします。
- 石橋図書館 毎年、全国の生徒や大人も参加できる「調べる学習コンクール」が開催される。夏休み期間中に課題や研究の参考になればと思い、文部科学大臣賞や観光庁長官賞等の受賞作品をまとめた小冊子をコピーして展示している。
- 松本委員 形のある物かと思ったが印刷物のレプリカということで了解した。
- 大垣委員 各館とも内容を工夫し様々な事業を企画していることに感心した。それによって図書館へ足を運ぶ回数が増える等、子どもたちが読書に興味を持つきっかけになればとても良いことだと思う。国分寺図書館のティーンズ読書クラブ会員

は現在何人いるのか。登録制なのか。

国分寺図書館 登録制ではあるが実際に来られない子もいる。登録者は約13名。
大垣委員 今、会員獲得に向けて努力中ということか。

国分寺図書館 そのとおりである。高学年の子が友だちを呼ぶ等して頑張っている。
大垣委員 ありがとうございます。

青木委員長 各自主グループに名称はあるのか。例えば南河内では「読書会つむぎ」がある。
石橋図書館 石橋は「石橋読書会」である。

国分寺図書館 国分寺も「国分寺読書会」「ティーンズ読書クラブ」という名称である。
青木委員長 国分寺読書会は何人ぐらいいるのか。
国分寺図書館 約10名。参加する方は少なくなっている。
青木委員長 了解した。

松本委員 実績報告を聞いて3館とも非常に良い事業を沢山やっていると感じた。できるだけ多くの人の目に触れて、多くの人に参加していただくようにする必要があると感じる。改めてホームページを見てみると、市のホームページから図書館への入口が狭く、イベント・行事にたどり着きにくい。目玉にしたい重要なものは冒頭ページから入れるようにできないか。図書館のホームページもなるべく冒頭でイベント・行事が見られるようにする等、工夫の余地があると思う。図書館のホームページは皆さんで工夫し、市のホームページについては担当課に働きかけをして少しでも前進できたら良いと思う。

事務局 承知した。

青木委員長 よろしくお願ひしたい。他に質問や意見はあるか。

晴山委員 国分寺図書館にお尋ねする。図書館活動（図書館主催事業）の内容の細部を教えてください。“抽選に当選したため開催”とはどういうことか。

国分寺図書館 栃木県子ども総合科学館の職員2名が講師となり実験等を行うイベントで、毎年4月頃に募集があり、それに応募して当選すると開催できる。

松本委員 これなどは正に私が申し上げたもっと宣伝してもよい事業ではないかと思う。

国分寺図書館 ツイッターやホームページには上げたがすぐに定員になってしまった。次年度も募集があれば応募する予定である。

事務局 今年度は密を回避するために全事業の定員を半分にしたため、人気のある事業は宣伝してもすぐ満員になった。締め切り後は記事を引き上げてしまうので場合によっては掲載記事が空いてしまうこともある。早くコロナが落ち着いて通常通りにできることを願っているが、コロナ禍でも各館工夫して開催しているので、できるだけ長く掲載するようにしていきたい。

下山委員 サイエンスショー等人気のあるものは、1回の人数が限られる場合は2回やるなどできると良い。

高木委員 文面が“抽選に当選したため”とあるが、あまりやりたくないのに仕方なくやるというようにも読めてしまう。

国分寺図書館 ご指摘に感謝する。修正する。

下山委員 子ども科学館の何に応募して当選したのか今一度確認したい。

国分寺図書館 県内の学校や図書館等公の施設に出前講座をする「移動科学教室」に応募した。
下山委員 了解した。

- 青木委員長 他に気になったことがあれば質問をどうぞ。
- 高木委員 言葉の確認だが、学校毎の貸出冊数の所に「学校団体」とあるのは、例えば学校で読み聞かせをしているボランティア団体等のことか。
- 石橋図書館 P T A、図書館に關係する父兄、学校図書室の先生等のことである。
- 高木委員 学校に直接関わりのあるボランティア等が直接来て借りるということですね。了解した。
- 青木委員長 特になければ次に進む。
- (2) 令和2年度図書館の外部評価について
- 【質疑等】**
- 事務局 外部評価は本日お持ちいただいたと思うが、記入漏れがないか確認の上、封筒に入れて提出願いたい。例年、裏面の記入忘れがあるのでよく確認してほしい。
- 青木委員長 それでは次に移る。
- (3) 令和3年度事業計画について
- 【質疑等】**
- 青木委員長 事務局から説明をお願いする。
- 事務局 令和3年度事業計画により説明。
- 石橋図書館 令和3年度事業計画により説明。
- 国分寺図書館 令和3年度事業計画により説明。
- 南河内図書館 令和3年度事業計画により説明。
- 青木委員長 来年度もまだまだ制約があると思うが、事業計画がスムーズに実施できるよう願っている。
- 下山委員 新規事業・一般向け事業の「美術館との連携」に関心がある。どんなことをやるのか簡単に教えてほしい。
- 国分寺図書館 来年度の県内各美術館の予定が出たら当館でできそうなものをピックアップして、学芸員の方に来ていただく事業ができればと考えている。
- 下山委員 期待している。
- 松本委員 2点質問がある。①「図書館まつり」について。どういう趣旨で何をやるのか、なぜ9月なのか、国分寺図書館以外の館でもやれるのではないかとという疑問。②「ヤングアダルト向けおすすめ図書小冊子作成・配布」の対象者が小学生となっている点について。
- 事務局 ②については中高生の誤りである。
- 松本委員 了解した。①はどうか。今年中止だったので内容がよく分からないので。
- 国分寺図書館 図書館まつりは例年9月開催。一昨年は「芸術の秋」ということで音楽の演奏会等を実施した。4・5月には「子どもまつり」があるが9月は一般の方も参加できるように子どもまつりを拡大したような内容にしている。
- 松本委員 「子どもまつり」は3館で実施しているが国分寺だけが大人向けの図書館まつりをやっているのか。どんなことをやったのか、盛況だったのかを聞きたい。
- 国分寺図書館 一日に午前・午後でそれぞれイベントをしたり祭りらしく飾りつけたりした。演奏会は子どもより大人の方が興味を持って参加する人が多かった。
- 石橋図書館・倉井 指定管理が業務を受ける時に、市の合併時にやっていた事業は継承している。「図書館まつり」は国分寺町の時代に既にあり、それを継続している。コンサ

- 一ト等の大人向け事業や図書館ボランティアによる手遊び等を行っている。
- 松本委員 伝統的に国分寺でやられていたものを引き続き実施しているということで結構なことだと思う。そういうことなら他の図書館もということではなく各館が独自でやられている中での国分寺図書館の活動ということで理解した。
- 青木委員長 他に無ければ議題は終了して事務局に渡したいと思う。
4. その他
- 篠崎課長 「下野市図書館基本計画（第二次）（案）」について、1月4日（月）から1月25日（月）にかけてパブリックコメントを行い、1名の方から4件の応募があった。内容については郵送でお示したが、字句の訂正は無く様式のずれ等の修正のみである。今後は3月5日（金）に社会教育委員会から教育委員会に答申、その後17日（水）に教育委員会で議題に上げ、承認いただいた後に正式な物を皆様に郵送したいと思っている。
- 事務局 「子どもの読書活動推進計画（第四次）」をお手元に配布した。計画策定にあたり青木委員長をはじめ図書館協議会の6名の委員にもご参加いただいた策定委員会や専門部会において、アンケート結果や各項目に係る意見や提言をいただきながらまとめた。アンケートは昨年7月に0歳児から6歳児の保護者、小学校2年生、5年生、中学2年生を対象に実施した。1月にはパブリックコメントを実施し1名から4件の意見をいただいた。こちらはホームページでも公開されている。原案の変更はなかったため四次計画の策定となった。本日、図書館協議会で報告、その後教育委員会、議会全員協議会で報告する。計画は後ほどご覧いただきたい。事務局からは以上である。
- 清水次長 その他として、今年度導入した図書の除菌機について各館の利用者の反応や、利用状況等をお聞きしたい。具体的な数字ではなくて結構。
- 石橋図書館 3館それぞれで周知しているところだが、12月1日から使用開始して石橋と国分寺がだいたい2,000回弱、南河内は3,000回位である。利用者からは「とても安心して資料を使うことができる」と好評いただいている。
- 清水次長 反応はいいということですね。
- 石橋図書館 はい。石橋図書館では愛称の募集をした。100人位の応募の中から「じよこまる」と名前を付け、蓋に目と口を付けて親しみやすいように工夫した。
- 清水次長 ありがとうございます。
- 松本委員 紫外線か何かですよ。1冊どの位時間がかかるのか。
- 石橋図書館 30秒です。6冊入り1回30秒でできる。紫外線その他、風を受けてページの中のホコリ等を飛ばすこともできる。
- 石橋図書館・倉井 この機械には国の交付金を取っていただいた。利用者に使っていただくことが基本なので貸出が終わった段階で案内している。図書館では返却された本を除菌機にかけてきれいにするのを心がけているが、返却時の状況等で対応できない場合は従来通り次亜塩素酸水液で拭いている。除菌機には児童書の大きい本でも6冊まで入り1回30秒。風と軟らかい匂いと強い紫外線が出る。県内の図書館でもかなり導入されている。
- 清水次長 ありがとうございます。
- 篠崎課長 事務局からは以上である。

松本委員 パブリックコメントについて二つの計画にそれぞれ1名から意見があったが、二つとも相当精緻に読んだ上で意見を出していただいたと感じる。せっかくの貴重なご意見なのでもう少し取り上げてよいのではないかと。私の経験上、余程のことが無い限りパブリックコメントがあっても直したくないという怠惰になりがちである。今回はいくつかの修正があるのでこれ以上直すべきだと言うわけではないが、怠惰になりがちだということは常に反省しながら良い意見があればできるだけ吸い上げ、フィードバックして修文しようという方向に持って行かないといけないと反省を込めて思っている。例えば「子どもの読書活動推進計画」でタブレットについて意見があるが、回答が意見の趣旨と異なると感じる。小学校で授業用に支給されるタブレットを使って、図書館との連携で本に親しむことに使えないかということ工夫して書くべきでは、という意見なので、何か工夫があっても良いのではと感じた。「図書館基本計画」では諮問のことについて、図書館協議会とはどのような役割を付与しているのかという意見がある。私も同じ疑問を抱いていた。図書館設置条例の第4条に図書館協議会の設置が規定されているが、委員10名で任期2年というだけで何をやるのか書かれていない。社会教育委員会が検討して答申するという形式は良いと思うが、社会教育委員会は広くやられているので、そのうちの図書館基本計画については図書館協議会に任務を下すという何らかの手続きが必要なのではないかと思う。

篠崎課長 今後検討させていただく。何らかの手続きもしくは対応策を考えていきたい。ありがとうございました。また計画についても今後、毎年の計画で何らかの考察を検討していきたいと思う。

松本委員 「子どもの読書活動推進計画」の方は何に基づいて検討したことになるのか。これも社会教育委員会で決定するのか。

篠崎課長 いえ違います。子ども読書活動推進計画策定委員会で決定するものである。

松本委員 了解した。

篠崎課長 皆さんから大変貴重なご意見をいただいた。ありがとうございました。

青木委員長 今日はお忙しいところありがとうございました。教育長はご退任ということで、本協議会には毎回ご出席いただき貴重なご意見をいただいた。感謝申し上げます。

池澤教育長 ありがとうございます。

5. 閉会

篠崎課長 以上で図書館協議会を閉じさせていただく。